

復興商店街 ここから再び。

「客に喜ばれる品物を」
商人の気概で再建誓う

自宅の常備食を購入
再建をさりげなく応援



Vol.7

しおがま・みなと復興市場に入居
塩釜市で今野海苔店を営む

塩釜市の復興商店街を訪れる
仙台市の行政書士

今野武雄さん（56）

森田みささん（46）

復興商店街の近くにあった以前の店が津波の被害に遭ったのは、去年9月です。開店してからは、塩釜の海産物が戻り、海苔や海藻も卸して使っています。一度は放射線検査をしていますが、いまのところは不検出なので安心して食べられています。いまは、去年は被災地への応援ムードや高速道路の無料措置があり、人出があり、売上も、今年3、4割減り、1、2年後には仮設を出て、以前の店を再建したい、いまの支援策の中では、

復興商店街に入居して
いる店舗は、再建へ向けて
多くの課題と向き合っ
ています。

復興市場は港のすぐ隣にあり、遊覧船に乗ったり、歴史ある街並みを歩いたり、いろいろな楽しみがあり、車で行けるのでお薦めです。

塩釜市内で被災し、仮設の「しおがま・みなと復興市場」に入居した今野海苔店のファンです。商品ののりがしっかりしていて、本場に味付けも入っていて、子どもは味噌汁にも入れて食べています。昨年、今年と事務所主催のゴルフコンペの参加賞にしたのですが、大好評で、リピーターになつた方もいたほどなんです。

被災各地に生まれた復興商店街。お店を訪ね歩いたり、品物を買うことが直接の支援になります。

3次産業への補助は少ないです。最悪、すべて自力でやらなければなりません。どの店も風評被害などで売り上げが低迷しています。本当に大変です。お客さんにはいつも励まされ、応援してもらっています。ただ、いつまでも甘えていては、いけない。良い商品を提供し、喜ばれて初めて商売が成り立ちます。日本の食文化を残すし、再建の足がかりになります。

今できること プロジェクト

「今できることプロジェクト」とは、読者の皆さん、企業・団体の皆さん、河北新報社と一緒に、これからの被災地・被災者支援のあり方を考え、具体的なアクションへとつなげていくプロジェクトです。紙面では毎回、実際に行われている支援の事例を、いくつかの支援スタイルに分けて取り上げ、支援する立場の人と支援を受ける立場の人、双方の生の声をご紹介します。被災各所に仮設店舗として生まれ、地域の復興のひたつのシンボリック的存在として注目されている復興商店街。今回のテーマは、被災地に訪れ、商品を購入することが被災地の復興につながる「商品購入型支援」です。

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設 HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

震災当日は塩釜にいました。たまたま今野海苔店にたまたま、いつも味の付きもみり、たくさんの味、い込み、いたんです。地震の後、大変な思いで仙台海苔店に帰りました。その後は、買物もできないような状況でした。おかげで、のりをご飯のおかずにして、何日もしのぎました。

ただ、いまの店はあくまでも仮設。いろいろな苦労があるのだから、思うように買えない。もう少しは、お役に立ちたい。もう少し、美味しい支那の方から自然にお店がなくなったら、本当に困るので、頑張って続けていた、わたしもずっと買っています。

◎しおがま・みなと復興市場

塩釜市の観光施設「マリンゲート塩釜」に隣接する場所に、2011年8月にオープンしました。JR本塩釜駅からは徒歩約5分。プレハブ2棟に鮮魚店や衣料品店など18店が入居しています。12月15、16両日は「大漁まつり」が開催されます。カニ汁を無料で振る舞う（先着300名、10時から）ほか、海鮮おでんやサンマ汁など温かい食べ物を販売します。



県内の被災地の復興商店街情報は、各地の観光協会にお問い合わせください。いくつかご紹介します。

①「おがつ店こ屋街（たなこやがい）」（石巻市雄勝町雄勝伊勢畑84-1）電話 0225-57-3077

鉄骨2階の建物にスーパーや寿司店、八百屋などが入居する。隣接する旧雄勝総合支所前では、復興イベントも多く開かれる。

②気仙沼復興商店街 南町紫市場（気仙沼市浜見山1-1）電話 0226-25-9756

震災後の4月から開催されていた「青空市」を元に開設された仮設商店街。地元の老舗料亭などをはじめ、多種多様な約50店舗が集まる。

③ふるさと復興商店街（亘理町悠里1）電話090-8250-3876（代表）

鮮魚店や衣料品店、居酒屋などが並ぶ。町の郷土料理「はらこ飯」を食べられる飲食店もある。

●私たちも、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/いのちの電話 震災ダイヤル/岩手日日新聞社/岩松旅館/エイチ・アイ・エス/NTTデータ東北/鹿島建設 東北支店/キリンビールマーケティング 東北統括本部/ケーズデンキ/コセキ/サッポロビール 東北本部/サントリービシア&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JT 仙台支店/鈴木工業/住友生命 仙台総支社/住友林業 仙台支店/青南商事/セキスイハイム東北/石油連盟/仙台コカ・コーラボトリング/仙台商工会議所/仙都タクシー/第一生命 仙台総合支社/大東住宅/タゼン/東海東京証券/東北三菱自動車/一般社団法人 日本手芸学会/日本政策金融公庫 仙台支店/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/はとバス/東日本大震災事業者再生支援機構/ビルワーク/富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ/ベルモースズキ/ペロタクシー/北洲ハウジング/ホテル佐勘/三井物産/三菱地所グループ/宮城県遊技業協同組合/みやぎ生活協同組合/宮城第一信用金庫/宮城中央ヤクルト販売/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 東北営業本部/河北新報社（順不同）

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会

【お問い合わせ】今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318